



いのち支える



いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第26号 (2023.12.05)



いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）のニュースレターにご登録いただき、どうもありがとうございます。

本号では、JSCPが運営する革新的自殺研究推進プログラムの中間報告やアンケート結果を共有します。また、JSCPが主催する「第5回 自殺報道のあり方を考える勉強会」レポートの公開、地方自治体向けの会議、自死遺族等支援室の活動等についてお知らせします。

※このメールは、本ニュースレターの配信をご希望された方や、当団体の活動を通して、ご連絡先を頂戴した方に送信しております。今後メールの受信をご希望されない方は、お手数をおかけし大変恐れ入りますが、[こちら](#)から配信停止手続きのほど、お願いいたします。

・ ニュースレター第26号トピックス

1. 【調査・研究】令和4年度「革新的自殺研究推進プログラム」委託研究成果報告書を公開
2. 【調査・研究】自殺対策推進レアルール（令和4年度「委託研究」成果報告会）のアンケート結果を公開
3. 【レポート公開】第5回 自殺報道のあり方を考える勉強会
4. 【レポート公開】令和5年度 自殺未遂者ケア研修「精神科救急版」
5. 【開催報告】令和5年度 地域自殺対策推進センターブロック会議
6. 【申込受付中】1月13日（土）開催「令和5年度 自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会」
7. 【登壇報告】JSCP職員が金融機関向け遺族支援イベントに登壇
8. 【子どもの自殺対策】中高教職員向けゲートキーパー研修の活用自治体を募集中

1. 【調査・研究】令和4年度「革新的自殺研究推進プログラム」委託研究成果報告書を公開

JSCPでは、自殺総合対策大綱にも明記されている、官民横断型の自殺対策に関する総合的な研究「革新的自殺研究推進プログラム」を実施しています。（詳細は[こちら](#)）

令和4年度は運営体制を一新して公募を行い、新たに設定した3つの領域で16課題を採択。各課題において「革新的」と呼ぶにふさわしい研究が進められており、この度、「令和4年度委託研究成果報告書」を公表しました。（いずれの研究課題も、令和5年度末もしくは6年度末までの研究となっており、今回の報告は中間報告となります。）

＜3つの領域＞

領域1「子ども・若者に対する自殺対策」（7課題）

領域2「自殺ハイリスク群の実態分析とアプローチ」（4課題）

領域3「ビッグデータ・AI等を活用した自殺対策」（5課題）

■令和4年度委託研究成果報告書は[こちら](#)

2. 【調査・研究】自殺対策推進レアル（令和4年度「委託研究」成果報告会）のアンケート結果を公開

革新的自殺研究推進プログラムでは、自殺対策推進レアル（令和4年度「委託研究」成果報告会）を2023年7月・8月にオンラインで開催し、地方自治体職員の方を中心に3日間で延べ940名の参加がありました。

終了後の参加者アンケートには領域1～3で延べ479名が回答（およその回答率51.1%）しました。自殺対策推進レアルの満足度は「やや満足」「満足」を合わせて全体（領域1～3の延べ）で97.9%にのぼりました。研究課題について16の研究課題それぞれの評価を見ると、参考になったという回答（「大変参考になった」「やや参考になった」）が80.0%～95.1%と、いずれも高評価でした。

■アンケート結果の概要は[こちら](#)

■自殺対策推進レアルの開催レポートは[こちら](#)からご覧いただけます

3. 【レポート公開】第5回 自殺報道のあり方を考える勉強会

JSCPは2023年7月15日（土）、「第5回 自殺報道のあり方を考える勉強会～地方メディアが変える、地域の自殺対策～」をオンラインで開催しました。全国の新聞・テレビ・ネットメディア・プラットフォーム事業者などから115名が参加しました。

「地方メディアの自殺報道」をテーマとし、秋田県で16年にわたり自殺対策のキャンペーン報道を続けてきた秋田魁新報社の取り組みについて、キャンペーン当初から取材に携わってきた同社の吉田新一氏（現営業局次長）にご報告いただきました。続くパネルディスカッションでは、中小企業経営者の自殺防止相談に長年取り組み秋田の自殺対策をけん引してきた、秋田市のNPO法人「あきた自殺対策センター 蜘蛛の糸」理事長の佐藤久男氏、JSCP代表理事の清水康之が加わり、秋田魁新報社の報道が果たしてきた役割や、地域に密着した地方メディアだからこそできることなどについて考えました。

■開催レポートは[こちら](#)をご覧ください

■過去（第1回～4回）の勉強会の開催レポートは、[こちら](#)



写真は吉田新一氏（左上）、佐藤久男氏（右上）、JSCP清水康之（下）

4. 【レポート公開】令和5年度 自殺未遂者ケア研修「精神科救急版」

JSCPは2023年10月29日（日）、令和5年度 自殺未遂者ケア研修「精神科救急版」を都内で開催しました。本研修は、精神保健福祉に従事する医師、看護師、精神保健福祉士等を対象とし、約50名が参加しました。

同研修は、2020年以降初めての対面形式での開催となりました。会場の熱気は高く、講師や参加者の間で活発な議論が交わされました。

■開催レポート及びプログラム・講師の詳細は [こちら](#) からご覧いただけます

5. 【開催報告】令和5年度地域自殺対策推進センターブロック会議

JSCP地域連携推進部では、全国を6ブロック（北海道・東北、関東、中部・北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄）に分けて、地域自殺対策推進センターブロック会議を毎年秋頃に開催しています。今年度のブロック会議は、2023年11月2日から17日にかけて行われました。はじめに、厚生労働省自殺対策推進室より令和6年度の自殺対策予算に関する情報提供、続いて参加者間での意見交換や情報共有を行いました。今年度は、こども・若者に対する自殺対策の更なる推進に向けた取り組みとして、「こども・若者の自殺危機対応チーム」の設置や地域自殺対策プラットフォームの構築に関わる準備状況のほか、自殺未遂者支援や自死遺族等支援など個別の取り組みについても情報共有や意見交換等を行いました。

6. 【申込受付中】1月13日（土）開催「令和5年度自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会」

JSCPは、来る2024年1月13日（土）に、「令和5年度 自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会」をオンラインにて開催します。本会は全国の自死遺族等支援団体の方々同士で意見交換をする場を設けることで、活動を展開する上でのヒントを得ていただくことを目的としています。JSCPより、各団体が日頃の活動の中で直面している課題や自治体との連携における留意点について情報を共有した上で、参加者による意見交換をいたします。プログラムおよび申し込み方法については、下記のJSCPのWebサイトをご確認ください。

申し込み期限は2024年1月8日（月・祝）です。なお、本研修の対象者は自死遺族等支援を行っている民間団体の担当者（各団体1名まで）に限らせていただきます。

■研修の概要は[こちら](#)をご覧ください

■申し込みは[こちら](#)

厚生労働省大臣官邸直轄法人 一般社団法人
いのちを支える自殺対策推進センター
(NPO法人 High-Impact Community Promoter Center-JSCP)

オンライン開催

【令和５年度】 自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会

～自死遺族等支援活動の課題と今後の展望～

令和６年１月13日（土）13:00～15:00

いのちを支える自殺対策推進センター（以下、「JSCP」という。）では、全国の自殺対策推進センターとともに意見交換を行う機会を設けており、遠隔で参加する方へのサポートを得たいことを目的とし、令和４年度より「自死遺族等支援団体向け研修・情報交換会」を開催してまいりました。

昨年にも引き続き、本年度も、日本の国中で各自治体で開催している「命の国体」と自治体の連携における重要ポイントについて、JSCPから情報を共有した上で、オンラインにて参加の皆さんによる意見交換を行います。

また、現在JSCPは「自死遺族等支援をするために総合的な支援の手引（おち）」の改訂を進めており、本研修・意見交換会の中で皆さまからご意見をもらう機会を設け、それらも参考にさせていただきます。

以下に、本年度までの大会の流れを内容概要としてあります。

※1：平成29年に開始された最大の規模の大会でありました。平成30年1月に自殺総合的対策推進センター（若狭）で開かれ、経路が異なる地域間での交流が図られることになりました。会場には全国各地から約30箇所までが来場となり、大盛況です。

※2：事務局からは、この大会を通じて「命の国体」や「命の国体」に関心のある方々へ、その意義や役割や関係者の役割の重要性をお伝えすることを希望しています。平成30年1月に開催し、経路が異なる地域間の交流を図ることで、全国的な自殺対策に関する意識を高めました。

※3：令和5年度の大会に向けては自殺総合的対策推進センターの協力を要します。

【対象】 自死遺族等支援を行っている民間団体の担当者（各団体1名まで）
【定員】 20名（先着順；オンラインでの参加が可能です）
【参加費】 無料
【内容】

- 自死遺族等支援の活動における課題、留意点
- 手引改訂の経緯と目的、次年版の紹介
- 全体意見交換

【申し込み方法】 <https://forms.gle/Tnqm9j7mdmDTZFhLc>
【申し込み期間】 令和6年1月8日（月）～（月）夜
【問い合わせ先】 JSCP自死遺族等支援室 izokushupport@jscp.or.jp

主催：厚生労働省大臣官邸直轄法人 一般社団法人 いのちを支える自殺対策推進センター（JSCP）

7. 【登壇報告】JSCP職員が金融機関向け遺族支援イベントに登壇

JSCP自死遺族等支援室の秋田整が2023年11月10日（金）、一般社団法人日本グリーフケアギフト協会が主催する「第5回グリーフケアフォーラム」（後援：金融庁、デジタル庁）に登壇しました。このフォーラムは、グリーフケアの考え方を業務に取り入れている金融機関間の情報共有を目的とし、2019年から毎年開催されています。今回は、対面形式とオンライン形式が併用され、銀行や生命保険会社など金融機関77社より205名が参加しました。

JSCPを含む8つの企業および団体より、遺族の心情に配慮した接遇時の工夫や相続手続の効率化などについて具体的な事例の発表が行われ、JSCP秋田からは、自殺対策の枠組、金融業界と自死遺族との接点、自死遺族への対応について発表しました。

■「第5回グリーンケアフォーラム」については[こちら](#)をご覧ください



写真は講演をするJSCP秋田整

8. 【子どもの自殺対策】中高教職員向けゲートキーパー研修の活用自治体を募集中

こども家庭庁が今年6月に発表した「こどもの自殺対策緊急強化プラン」では、こどものSOSをどのように受け止めるのかについて、教員が学ぶ機会を設定することが掲げられています。JSCPでは中高教職員の方々を対象に、生徒のSOSのサインに気づき、寄り添い、適切に支援につなぐためのコツを、ケース・スタディを通して分かりやすくお伝えする研修プログラムを独自に開発しました。自治体単位（学校単位も応相談）でお申し込みいただくことができます。研修の受講は無料です。ぜひご活用ください。

■申し込みは[こちら](#)

■YouTubeの「JSCP_広報室」チャンネルで、研修動画等を順次公開しています。

ぜひご登録ください。 <https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITeKzHQ>

■Yahoo!ニュースエキスパートで、JSCPとして自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています（JSCP広報官・山寺が執筆）。ぜひご覧ください。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/yamaderakaoru>

今後も、JSCPをどうぞよろしくお願いいたします。

なお、配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 news@jscp.or.jp



<https://www.facebook.com/JSCP.press>



https://twitter.com/JSCP_press